

児童・生徒の作品コーナー

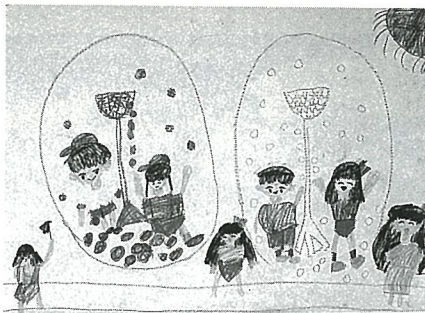


南条小学校児童の紹介



1年 鈴木結佳ちゃん

※小運動会で玉入れをしました。私は、いっしょうけんめいなげました。

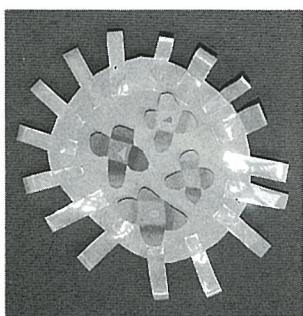


『玉入れ』



2年 伊藤梢江ちゃん

※花びらを切るのがむずかしかったです。おかあさんにあげようと思います。



『きれいなむねかざり』



我が家の家庭教育

関 宮本京子

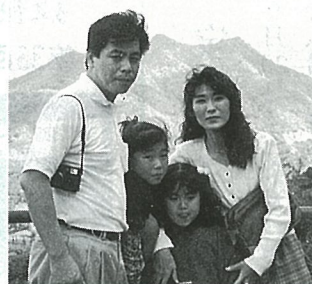
我家の家族構成は、私たち夫婦と長女、2女そして犬1匹です。幼い頃は、怪我も病気も多く何度か救急車のお世話にもなり、入院、手術と心配事が絶えなかった娘たちも今は病気知らずの3年生と1年生になりました。

家庭教育という程のものはありませんが、人を危める事が日常茶飯時の様にある近ごろ、報道を見聞きするたびに人を愛する心が欠けているように思えてなりません。基本的な事ですが、人を思いやる心、愛する心を十分に持った子に育ってくれたらと願っています。

おもいやり

先日、1年生の娘が下校途中、道端に死んでいた雀を見つけ、真新しいハンカチに包んで帰って来ました。雀の頭や体をさすりながら、「首の骨が折れているみたい、かわいそうに」と庭の隅に埋めている姿を見て、自分ならどうするかと考える

ごもおもいでした。母親としては未



昨年の家族旅行ハワイで

と死んでいる雀を見つけてもせいぜい踏まないようにとの隅の方に避けてあげる位しか出来ないであろう、ましてや自分のポケットから真新しいハンカチを出して包んで帰る事などなかったであろうと思うと娘の心の温かさに心がな

批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします。敵意にみちた中で育った子は誰とでも戦います。心が寛大な人の中で育った子はがまん強くなります。励ましを受けて育った子は自信を持ちます。これはアメリカインディアンの教えという詩の一部ですが、詩の内容をよくかみしめて、これから子供たちの青い芽を、まっすぐに伸ばす努力をしていきたいと思っています。